

徳勝龍関優勝記念碑除幕式に招待を受けて

29期 竹本治男（大鶴）

秋晴れの好天気にも恵まれた10月31日（土）午後1時より地元桜井市穴師の相撲神社において「徳勝龍関優勝記念碑オンライン除幕式」が盛大に行われました。

徳勝龍関は令和2年大相撲1月場所において、奈良県出身力士として98年ぶりの幕内最高優勝を果たし、3月30日地方巡業「大相撲桜井場所」後に地元をあげて除幕式を盛大に行う予定でした。ところが新型コロナウイルス感染拡大の影響で伸び伸びになっていました。

本日、徳勝龍関は東京よりリモートによる参加でしたが、相撲ゆかりの奈良県4市（桜井・天理・香芝・葛城）各市長はじめのみのすくね野見宿禰顕彰会・まきむく纏向校区区長会・ひょうず大兵主神社総代会など関係者が集まりました。

記念植樹をはじめ、除幕式・リモートによる徳勝龍関の挨拶などがおこなわれました。

オンライン中継やリモートによる会話など私にとって初めての経験でした。少し盛り上がり的には寂しかったですが、私が揮毫させて頂いた優勝記念の石碑が現われ拍手が起ると嬉しかったです。頑張ってきた証をまた1つ残すことができ感無量です。

日本最古の道といわれています「山の辺の道」（桜井から天理）を歩かれたら立寄って見てください。

2020（令和2年）10月31日 記す

*事務局より

今回の便りと同時に「HP掲載2020年3月10日付の竹本さんの関連記事」もお読み下さい。



記念植樹（桜井市長・香芝市長・天理市長・葛城市長）



除幕式（各市長はじめ関係者）



除幕された記念碑と徳勝龍関のご挨拶（東京よりオンライン）



筆者(左)と桜井市松井市長 (揮毫した記念碑の前で)



大型絵馬 (徳勝龍関の手形・サインと私が書いた文字)